

日本社会事業大学専門職大学院 リカレント講座

福祉組織の事業を進めていく上で、ソーシャルワークのスーパービジョンが注目され、必要だという認識が高まっています。今日のソーシャルワークにおいては対人援助から地域支援まで幅広い対応が求められており、実践では支援困難な状況や多様なニーズなど様々な課題に迫られます。実践者一人で抱え込まず、組織としての成果をあげるためのスーパービジョンが必要です。本講座では、福祉組織に備えられているスーパービジョン体制について確認し、スーパーバイザーとしての姿勢、スーパーバイザーとしての役割などについて、みなさんと考えてみたいと思います。

2025年

●日時: **10/25** (土)

13:30~16:30

●受講料: **2,000** 円(税込)

●定員: **30** 名 ※定員になり次第締切

●授業形態: **対面** または **Zoom**

※社会情勢の変化により、オンライン講座のみになる可能性があります。オンライン受講の場合、インターネット環境及びノート PC 等(マイク・カメラ付)が必要となります。

講座R2

福祉組織における

ソーシャルワークスーパービジョン

進行予定

13:30~14:00

「グループスーパービジョンを受けて」

話題提供: 専門職大学院修了生

認定社会福祉士になるためには、スーパービジョンを受けることになっています。

グループスーパービジョンを受けて考えたこと、学んだことをお話いただきます。

14:00~15:00

「福祉組織におけるスーパービジョン体制のあり方」

進行: 木戸 宜子

福祉組織の特性をふまえて、求められるスーパービジョン体制のあり方、ソーシャルワークスーパービジョンをどう展開していくかについて考えます。

15:10~16:30

「ソーシャルワークスーパービジョンの活用」

進行: 木戸 宜子・木幡 伸子

スーパーバイザー、スーパーバイジーなど、参加者それぞれの立場から、ソーシャルワークスーパービジョンの活用について考えてみましょう。講師の提示する事例場面を用いて、ロールプレイによりスーパービジョンを体験してみます。

※内容が若干変更になる場合があります。

こはた のぶこ
木幡 伸子 (本学非常勤講師)

略歴: 日本女子大学卒業・大学院修士課程修了、社会福祉士、地域包括支援センター・デイサービス等の実践歴
専門領域: ソーシャルワーク方法論、機関連携によるソーシャルワーク
担当科目: 家族システムズアプローチ、スーパービジョン概論、SW アプローチ (過年度)
研修講師等: 傾聴ボランティア養成研修講師等

きと のりこ
木戸 宜子 (本学教授)

略歴: 日本社会事業大学卒業・大学院修了、社会福祉士、病院ソーシャルワーカーとして10年の実践歴
専門領域: ソーシャルワーク方法論、スーパービジョン、インタープロフェッショナルワーク
担当科目: ジェネリック SW、SW アプローチ、インタープロフェッショナルワーク、スーパービジョン I、家族システムズアプローチ 他
研修講師等: 社会福祉協議会、福祉施設等のソーシャルワーク研修講師等



お申込み方法

①本学 Web サイトの申込フォームからお申込ください。

②振込案内、申込内容がメールで自動返信されます。

③受講料を金融機関よりお振込みください。

④ご入金を確認後、受講日の前日までにはご登録のメールアドレス宛に授業案内のメールをお送りいたします。大学院教務課(inkyomu@jcsu.ac.jp)からのメールを受信できるようにしておいてください。

⑤当日は振込を証明できるもの(振込明細書等)をご用意の上、お申込みの参加形態で受講してください。



対面会場アクセス

文京キャンパス 文京区小石川 5-10-12



東京メトロ丸ノ内線
茗荷谷駅下車
徒歩 5 分

お問合せ

日本社会事業大学 大学院教務課 ☎ 042-496-3105 ✉ inkyomu@jcsu.ac.jp